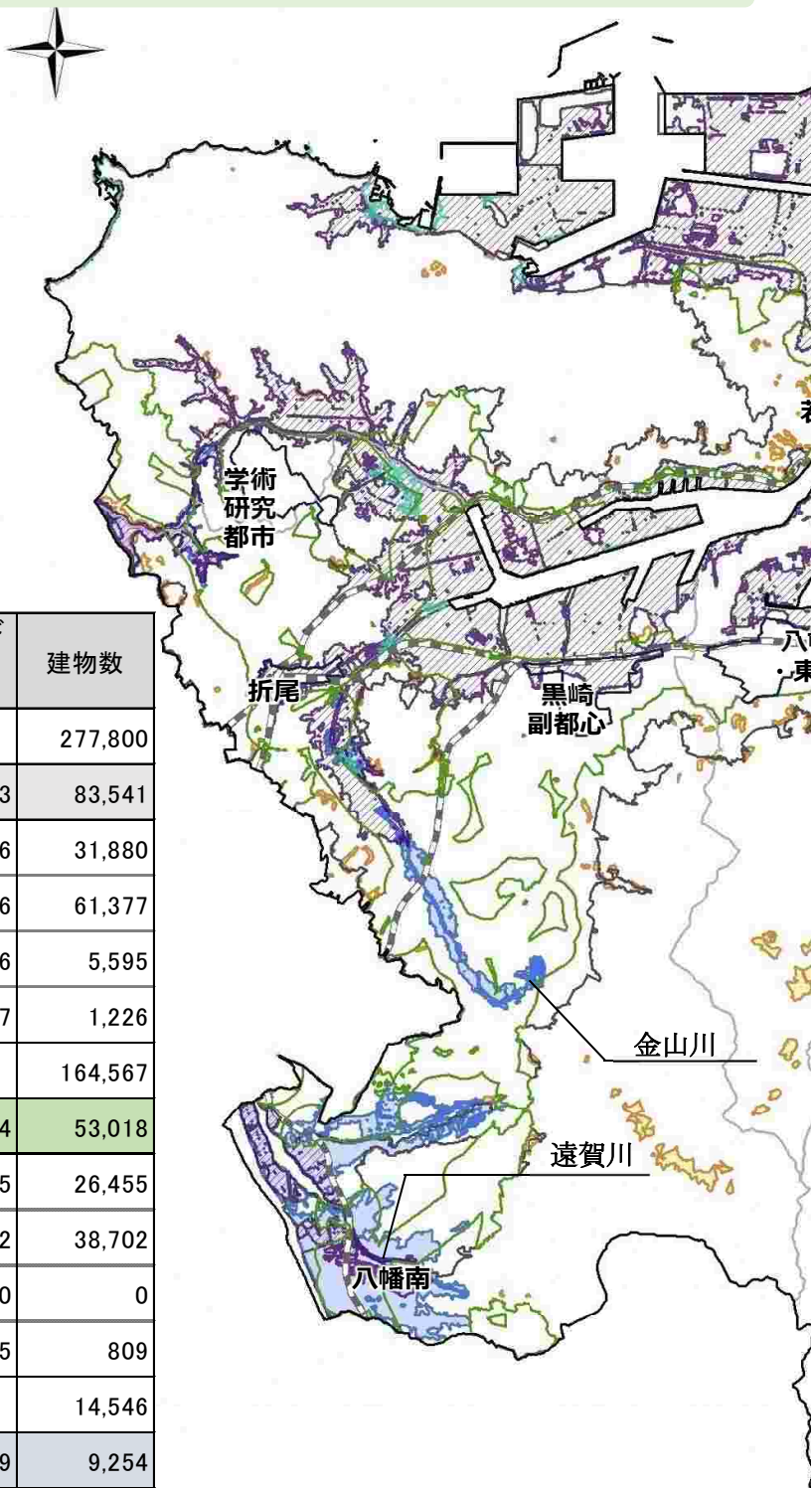


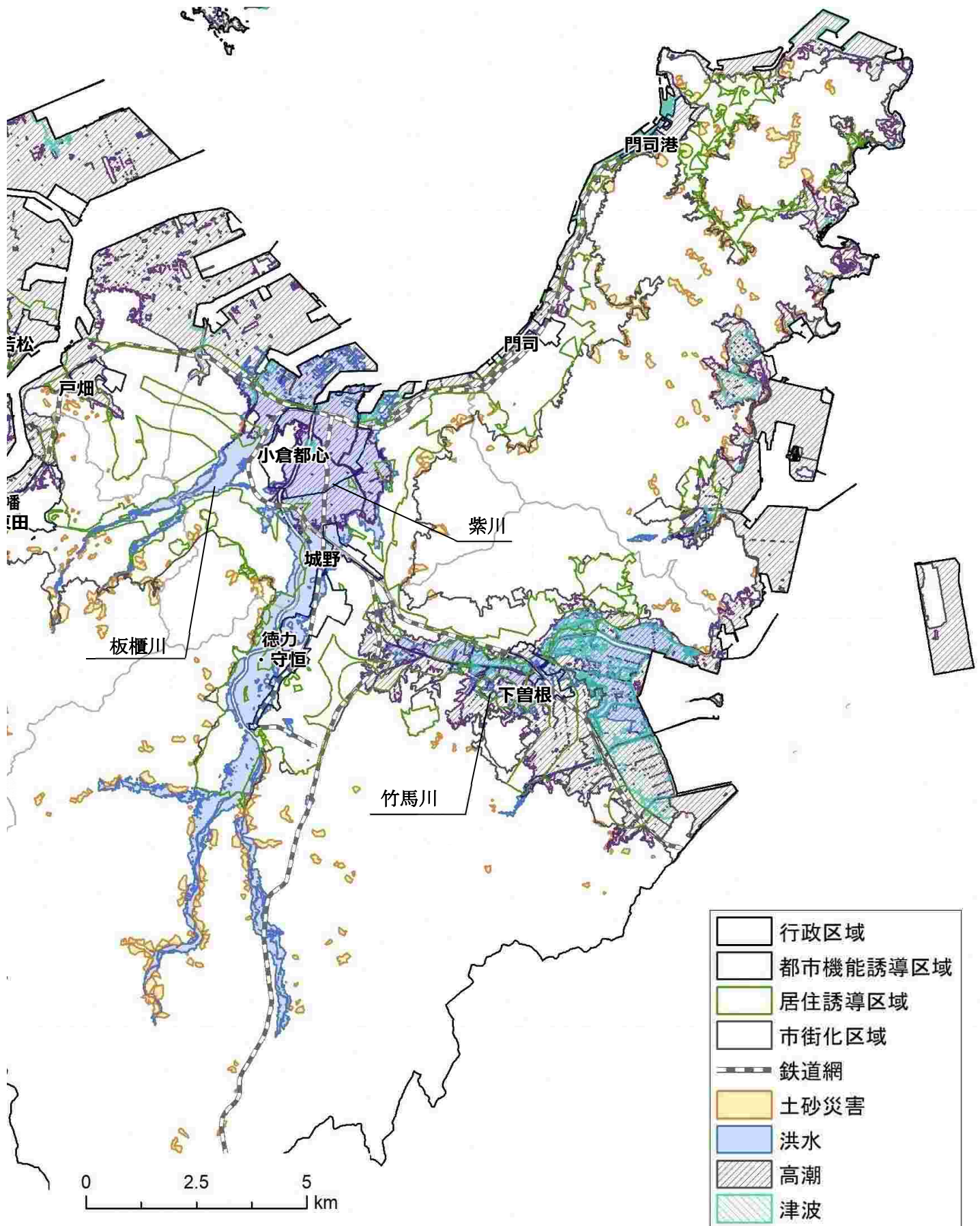
8-4 防災上の課題の整理

(1) 市内全域の災害ハザードエリア（想定最大規模）

居住誘導区域内で想定される津波、洪水、高潮が発生した際に、いずれかの災害に該当する建物は約53,000棟あります。また、居住誘導区域内に約3,300ha（約34%）、都市機能誘導区域内に約710ha（52%）の災害ハザードエリアが広がっています。



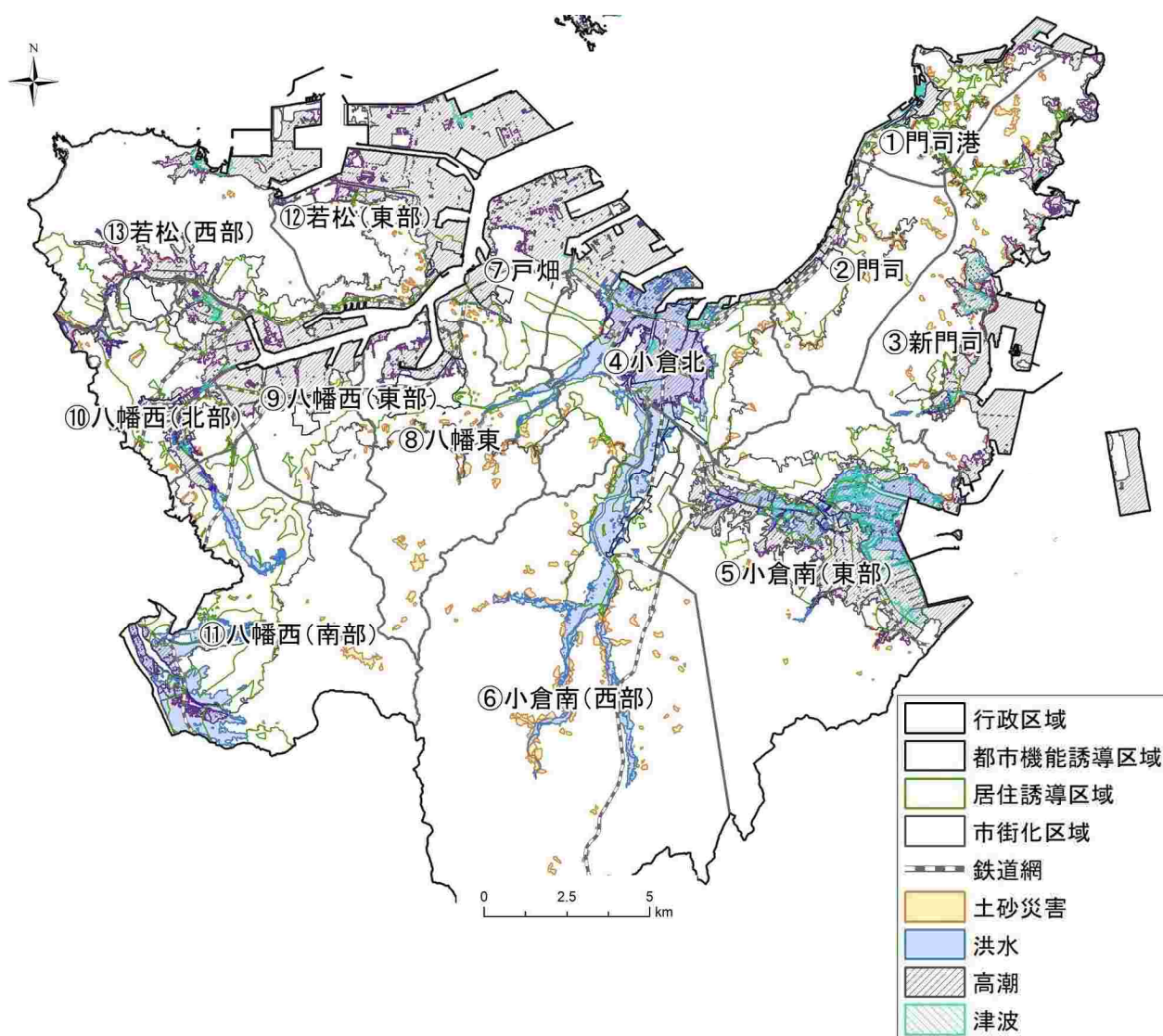
		面積ha	災害ハザード エリア 割合%	建物数
市街化区域	全域	20,365.3	—	277,800
	災害ハザードエリア	8,827.8	43.3	83,541
	洪水	2,157.8	10.6	31,880
	高潮	7,451.5	36.6	61,377
	土砂災害	330.7	1.6	5,595
	津波	145.0	0.7	1,226
居住誘導区域	全域	9,626.6	—	164,567
	災害ハザードエリア	3,311.9	34.4	53,018
	洪水	1,681.2	17.5	26,455
	高潮	2,427.9	25.2	38,702
	土砂災害	0.0	0.0	0
	津波	43.9	0.5	809
都市機能誘導区域	全域	1,365.2	—	14,546
	災害ハザードエリア	709.1	51.9	9,254
	洪水	428.6	31.4	4,994
	高潮	601.5	44.1	8,163
	土砂災害	0.0	0.0	0
	津波	6.1	0.4	83



(2) エリア分割の設定

地域特性や行政区ごとの取り組みを評価するため、行政区、居住誘導区域、災害想定から下図に示す13エリアに分割を行いました。

①門司港	⑧八幡東
②門司	⑨八幡西（東部）
③新門司	⑩八幡西（北部）
④小倉北	⑪八幡西（南部）
⑤小倉南（東部）	⑫若松（東部）
⑥小倉南（西部）	⑬若松（西部）
⑦戸畑	



(3) エリアごとに対象とする災害

想定する災害は、浸水想定区域（洪水、高潮、津波）、土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域、家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食・氾濫流）を対象として、居住誘導区域内での課題整理を行います。なお浸水についてはエリアごとの災害特性を考慮し、影響範囲が大きい災害を取り扱います。

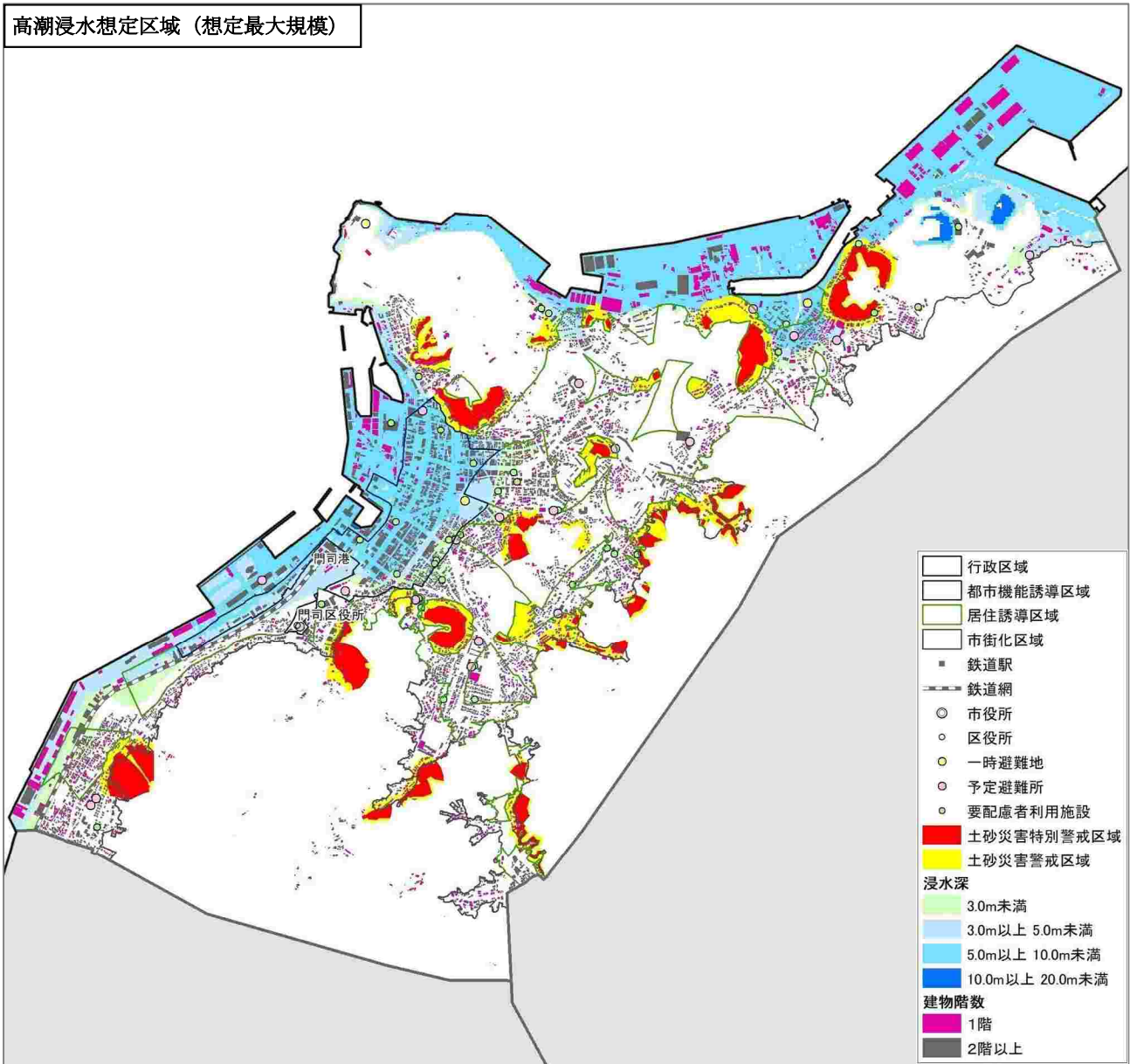
(4) 地域ごとの防災上の課題

1) 門司港 (主要な想定災害：高潮)

- 本エリアは「地域拠点」に位置付けられており、市街地が臨海部に面しています。
- 高潮浸水想定区域(想定最大規模)には、建物が約1,400棟存在します。浸水深3m以上の建物は約1,100棟存在し、垂直避難が困難な場合は水平避難が求められます。
- 浸水継続時間は、想定される建物の9割が12時間未満です。
- 想定最大規模の高潮浸水に対応可能な予定避難所(災害時に避難が可能な施設)は14カ所あり、うち居住誘導区域内では8カ所あります。
- 要配慮者利用施設は約50棟あり、うち約20棟の浸水が想定されています。

	エリア内				居住誘導区域内			
	全 施設数	適応災害種別(施設数)			全 施設数	適応災害種別(施設数)		
		洪水 土砂	高潮	津波		洪水 土砂	高潮	津波
一時避難地	8	3	5	7	4	3	2	4
予定避難所	20	16	14	16	10	10	8	8

高潮浸水想定区域(想定最大規模)



2) 門司 (主要な想定災害：高潮)

- 本エリアは「地域拠点」に位置付けられており、海と山に囲まれた市街地が形成されています。
- 高潮浸水想定区域(想定最大規模)には、建物が約1,100棟存在します。浸水深3m以上の建物は約20棟存在し、垂直避難が困難な場合は水平避難が求められます。
- 想定最大規模の高潮浸水に対応可能な予定避難所(災害時に避難が可能な施設)は24カ所あり、うち居住誘導区域内では16カ所あります。
- 要配慮者利用施設は約40棟あり、うち約10棟の浸水が想定されています。

	エリア内				居住誘導区域内			
	全 施設数	適応災害種別(施設数)			全 施設数	適応災害種別(施設数)		
		洪水 土砂	高潮	津波		洪水 土砂	高潮	津波
一時避難地	14	10	14	14	9	8	9	9
予定避難所	26	22	24	23	18	18	16	16

